

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立菅原小

学校

児童数

86/102名

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.84	18.35	38.89	42.37	52.35	9.33	152.78	20.87	54.85
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.45	18.65	44.20	39.88	38.50	9.91	144.75	11.74	54.89
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

課題について、握力や上体起こし、50m走、ソフトボール投げなど筋力発揮系種目が全国、大阪平均より下回っていることが分かった。体育や休み時間等を活用し、基礎的な筋力発揮を目的とした体づくり運動などを取り入れていきたい。

一方運営の計画で取り組んでいる、長座体前屈と反復横跳びについては男女ともに全国平均を大きく上回っており成果が見られた。体力合計点についても平均を上回っていたので、自校の取り組みを引き続きおこなっていく。

1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合(%)は、男子11%、女子17.5%であった。休み時間などを活用し運動が好きになるような取り組みを実施していきたい。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

これまで、4月に体力テストの研修、前期に縄跳び週間、後期にかけ足週間、各学期に1度の学年スポーツ大会などに取り組んできた。結果、体力合計点で全国平均と大阪市平均を上回る成果を得られた。

一方、筋力発揮系の種目や、1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合が約1割と多い。これらの対策として、来年度からリズムトレーニングに力を入れて取り組み、楽しく筋力発揮効率を高められるようにしていきたい。